

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

【Vol.37】2016年3月発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

2月初め、昨年発足したフィリピン県人会に参加させていただきました。会長はじめ皆さん要職でご活躍の様子を伺うほか、約30年前に大分大学に留学していた元留学生が、最も大分のことを詳しく話して盛り上がったところです。フィリピン都市部も活気にあふれ、日系企業の進出や日本食店なども多く、訪日観光客も増加しているなど、今後に期待できる地域です。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について



農林水産部
審議監兼漁業管理課長

本庄 新
(Shin HONJO)

【連絡先 (Mail)】
a16350@pref.oita.lg.jp

関あじ・関さばをはじめ、ブリやヒラメ、アジの開きなどの大分県産水産物がアメリカ、EU、中国、東南アジアなど10以上の国・地域に輸出されています。ご存じでしたか？

漁業管理課では、生産者や商社の方々と連携しながら、県産水産物の輸出拡大に取り組んでいます。特に「養殖ブリ」については、質・量ともに安定して生産される大分県を代表する水産物ですので、各国の商談会、フェアなどに出展し積極的にPRを行っています。

最近の世界的な“日本食ブーム、寿司ブーム”の追い風もあり、国産食材への関心は非常に高いものがありますが、ブリはほぼ日本のみで生産されているため、海外での知名度は全くと言っていいほどありません。

私も、昨年11月に九州各県と連携して開催したシンガポールフェアに参加する機会があり、県産水産物のPRを行ってまいりました。シンガポールのような都市には、世界中の魅力的な食材が集まってきます。そのような中で、県産水産物を選んでいただくためには、品質の良さだけでなく、商品誕生の背景、種類の豊富さ、食文化など独自の魅力を分かりやすく伝え、知名度を上げていくことが重要です。

これからも県産水産物の輸出拡大に向け、世界各地でPR活動を実施していきます。お見かけになった際には、是非お立ち寄りください。そして、実際に食べて、大分の魅力を実感してください。きっとご満足いただけるはずですよ。



注目記事① 県内の外国人宿泊客数 初の50万人突破

平成27年県観光統計の外国人宿泊者数は、前年比で20万人、60%増の53万6千人と過去最高を記録し、全ての国で前年を大きく上回りました。この結果、インバウンドの規模は、国内市場と比較すると、近畿圏の33万人を大きく上回り、関東圏の55万人に迫るものとなりました。

増加の要因は、円安やビザ発給要件の緩和、訪日旅行人気などに加え、県において、台湾やタイ等で行ってきた観光プロモーションや、200ヶ所を超えるWi-Fi整備、九州第2位となる19ヶ所の外国人観光案内所の認定による多言語対応の強化など受入態勢の充実、さらには、韓国ティーウェイ航空の定期便や台湾マンダリン航空チャーター便の誘致などの成果が現れたものと考えています。

また、本年1月の外国人宿泊客数は7万4千人で、前年を80%上回り、単月の最高を記録しました。この勢いを継続して、28年も記録が更新されるよう取組を進めます。

【観光・地域振興課】

県内の海外宿泊客数の推移と内訳

国・地域	2010年	2013年	2014年	2015年	前年比
韓国	291,787	210,875	188,093	302,703	160.9%
中国	9,582	12,739	15,438	42,277	273.9%
香港	4,425	18,650	31,703	50,612	159.6%
台湾	19,264	44,243	56,341	74,401	132.1%
その他のアジア	20,683	22,634	28,528	48,199	169%
その他	18,946	14,796	14,783	17,815	120.5%
合計	364,687	323,937	334,886	536,007	160.1%

(注)2014年速報値、2015年速報値は変動する可能性がある。(単位:人)

注目記事② マカオ、そしてロンドンで大分フェアを開催

ホテルオークラマカオが大分フェアを開催します！

3月11日～13日の間、ホテルオークラマカオが大分フェアを開催します。フェアは、ホテル内の日本食レストラン「山里」にて行われ、期間中は、おおいた豊後牛やかぼすブリ、椎茸など大分を代表する食材を使った料理とお酒がメニューに登場します。



ホテルオークラマカオ外観

初日のレセプションパーティーには、太田副知事も出席し、現地のメディア及びホテル関係者らに向けて大分県の食や観光についてプレゼンテーションを行います。

また、「山里」では3月はフェア期間中以外でも大分県産の食材を用いたメニューが提供されます。

「山里」の林彰総料理長は京都で修行を積み、国内外で高く評価されています。その総料理長が見込んだ大分県の逸品をご堪能ください。



日本食レストラン「山里」

ロンドン「ATARIYA」で大分フェアを開催！

3月8日～20日の間、英国において高級食材卸や日本食料理店を運営するT&S社の直営店「ATARIYA」の小売店舗及びレストラン計7店舗で大分フェアが開催されます。英国では、昨年11月に鉄板焼きレストラン「BENIHANA」で開催されて以来、2回目となります。

フェアでは、おおいた豊後牛、椎茸、甘太くん(甘藷)、大葉、白ねぎ、小ねぎ、にら、ゆず胡椒、粉末緑茶、日本酒が店頭販売あるいは料理として特別提供されます。「ATARIYA」のレストランは日本人のお客が多く、本格的な日本食がいただけるお店です。

【畜産振興課】



ATARIYA外観

海外大分県人会交流掲示板



韓国大分県人会

韓国大分県人会幹事の小篠様より新年会のご報告を頂きました。「1月15日に、2016年の第一回目となる大分県人会(新年会)を開催いたしました。今回は、メンバーのご紹介で初参加の方もみえて、賑やかな会となりました。」

韓国大分県人会では、年に4回ほどの親睦会を予定しているとのことです。

台中大分県人会

2016年1月27日、出張で来台されていた大分県交通政策課の土田課長、松垣副主幹と台中大分県人会との間で懇親会が催されました。

会の冒頭、土田課長より大分県と台中市が観光協定締結に至った背景、その後の交流状況等についてご紹介があり、県人会の廣瀬会長からは、今後の更なる交流促進への期待が述べられました。会は次第に盛り上がり、台湾での仕事、生活ぶりから大分県の地元ネタに至るまで様々な話題が出て、盛況のうちに終了しました。なお、当日、初めてのお披露目となった(県から贈呈いただいた)県人会旗が和やかな懇親の場に花を添えました。この県人会旗、今後ますます活躍してくれそうです。

台中大分県人会(事務局長) 丸尾貴彦





Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事(2月)

News 【2月5日(金)】フェンシングW杯 9カ国の代表選手が合宿

3月25日、26日に韓国にて開催されるフェンシングワールドカップに出場する代表選手らが、大分市コンパルホールで事前合宿を行うそうです。大分市での合宿には、日本、ロシア、イタリア、アメリカ、ジョージア、ギリシャ、ハンガリー、アルゼンチン、チュニジアの9カ国が参加をします。日本代表は3月上旬から、海外選手は3月中旬ごろから来県をし、合宿に参加します。一般の見学、選手との交流イベントなども実施される予定です。



News 【2月8日(月)】中津市で伝統の「北原人形芝居」を楽しむ

2月7日、中津市北原地区の原田神社で「北原人形芝居」が行われました。この人形浄瑠璃は、鎌倉時代から伝わるとされ、県の無形民俗文化財に指定されています。現在は、北原人形芝居保存会と地元の三保小学校人形劇クラブが中心となり神社での奉納を続けています。当日は、地元住民や市内外の観光客など500人が訪れ、情感あふれる人形浄瑠璃を楽しみました。



News 【2月13日(土)】安心院の特産スッポンが給食に

宇佐市安心院町・院内町の小中学校の給食メニューに安心院特産のスッポンが登場しました。安心院すっぽん振興会が無償で提供した約60匹分のスッポンを市南部学校給食センター職員が「安心院スッポン鍋」として調理しました。これは、子どもたちにスッポンのおいしさを知って親しんでもらおうと2013年度から取り組んでいるものです。振興会の塚崎会長は「将来、スッポンを食べたことがあると自慢できるようになってくれたらうれしい」と話していたそうです。



News 【2月18日(木)】東京・杉並の「太宰治の下宿」湯布院に移築

東京都杉並区にある「碧雲荘」は1936年頃、太宰治が一時暮らしており、著書の中でも碧雲荘から富士山が見えると書かれています。碧雲荘が立っている土地の売却に伴い4月までの取り壊しが予定されていましたが、地元住民らから建物の保存を求める声があがっていました。湯布院の旅館「二本の葦束」の経営者である橋本さんは知人からその話を聞き、建物の移築を決意。由布市内の自身が手掛ける「文学の森」に今年の秋頃までに移築をする予定です。人の交流する場、日本文化の良さを伝える場にしたいとのこと。

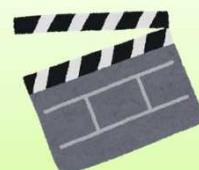
News 【2月21日(日)】春を告げる使者マンボウが帰ってきた!

佐伯市蒲江の県マリカルチャーセンターで22日からマンボウが公開されます。県南の海で定置網に掛かったマンボウが持ち込まれたものです。19日に2匹、20日に1匹持ち込まれた3匹はどれも体長1メートル未満の子どもとみられ、網に掛かった時にできた傷の手当てや餌やりで体力をつけさせ6月上旬まで保護をし、海に戻すとのこと。マンボウの数は、潮流の変化が影響していると見られ、昨年は、計37匹のマンボウが保護されたそうです。



News 【2月25日(木)】APU学生が鉄輪舞台に映画を制作

立命館アジア太平洋大学(APU)が「吉本新喜劇」などで知られる吉本興業の協力のもと映画を制作します。15分の短編映画「雲の街(CLOUD CITY)」は鉄輪地区を舞台にしたファンタジー映画となる予定。APUで学ぶ日本、韓国、タイ、ベトナム、フランス出身の学生らが撮影スタッフとして制作に関わり、また、出演者にもAPU学生や地域住民などを起用します。映画は4月に沖縄県で開催される「第8回沖縄国際映画祭」に出品するそうです。



※国際政策課にて新聞等を元に作成

From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。

 <p>ミアム・スターリング (Miriam Starling) 県国際交流員 英国 pu101503@pref.oita.jp</p>	<p>久しぶりの女子会のため、二人の友達が大分を訪れました。二人は千葉県と愛媛県の田舎に勤務する国際交流員なので「大分市は賑やかだね!」と言ってくれました。千葉県の友達は、大分市に行く前に、別府や杵築を観光したようで、私とは、一緒に大分駅のアミュプラザを回ったり、美味しい食べ物を楽しみました。皆はJR九州のくろちゃんというキャラクターのファンなので、大分駅のシティ屋上ひろばにいて、神社でくろちゃんの御守りなどを買いました。大分駅の温泉に行くと、鶴見岳の下に沈む太陽を見ました。その後、ハワイ・ハンバーグとパンケーキを食べました。お土産として、友達がみかんを持ってくれましたが、大分県のカボスも好きになってほしいと思いました。私は大分県や大分市が大好きですので、この地に訪れてくる友達に大分の色々な所を紹介することが非常に楽しいと思っています。</p>	
 <p>李 曉雪 (Li Xiaoxue) 県国際交流員 中国 pu101501@pref.oita.jp</p>	<p>日曜日に、友達と一緒に、2月14日から梅祭りが始まったという吉野梅園へ行ってきました。豊後梅、白加賀、寒紅梅などの梅が450本と臥龍梅(がりゅうばい)が50本あり、大分県でも有数の梅の名所ということで、梅好きの私としては期待して行ったのですが、まだ5分咲ばかりで見頃には程遠い状況でした。 吉野梅園を後にして、フグや味噌・醤油で有名な城下町臼杵へ立ち寄りしました。ちょうど、臼杵めぐるが行われていて、意外にも、臼杵の特別な紙製の雛人形を楽しんでいました。臼杵雛の特徴は大きく2つあり、一つ目は雄雛と雌雛の柄を合わせて夫婦を表すこと、二つ目は一つの菱餅とのことです。</p>	
 <p>金 眞雅 (Kim Jina) 県国際交流員 韓国 pu101502@pref.oita.jp</p>	<p>浴衣を着ているピカチュウを見たことありますか? これは「おんせん県おおいた」限定である浴衣姿のピカチュウの縫いぐるみです。 この度、韓国に帰っていたので、友達にあげるお土産として大分限定のこのピカチュウの縫いぐるみを買いました。ピカチュウの大好きな友達はお土産をもらってとても喜んでくれました。ご当地ピカチュウの縫いぐるみは日本でも珍しいようで、九州では大分でしか売っていないみたいです。 韓国に帰るたび、いつもお土産は何が良いのか迷いますが、今回大分の特徴がよく分かるご当地限定グッズを見かけて、これからは他にどのような限定グッズがあるのか、探してみたくなりました。</p>	
 <p>シェリダン・ミキシック (Sheridan McKisick) 県国際交流員 米国 pu1014001@pref.oita.jp</p>	<p>今月、中津に住んでいる友達を訪ねました。今まで、中津に行ったことがなくてJRソニックにちりんに一回しか乗ったことがありませんでした。しかし、大分県のあちこちを冒険をしたいので、中津に行かなくては行けませんでした。 中津から大分市に戻る前に、友達のアパートから近い「バステト」というレストランで昼ご飯を食べました。このレストランで食べているときに、「おもてなし」や「やさしさ」の意味をよく考えました。洋食のレストランなのに、大分県の優しさを守る場所でした。レストランのスタッフとたくさん話して、おいしい食べ物を食べて、良い一日になりました。</p>	



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【九重町／玖珠町】



(九重町)
「タテ原湿原」
くじゅう連山の北側の扇状地にできた湿原



(九重町)
「筋湯温泉」
「シンフロ」にも登場するうたせ湯



(玖珠町)
「立羽田(たちはた)の景」
耶馬溪を代表する紅葉の名所約1kmに渡り奇岩秀峰が続く



(玖珠町)
「旧久留島氏庭園」
久留島氏8代藩主・通嘉が作り上げた庭園



話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください! (様式は任意です)

【記事提供先/お問い合わせ先】
国際政策課 担当:平山(ひらやま)
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp



「別府アルゲリッチ音楽祭」のご案内

新たな拠点として昨年5月に誕生した「しいきアルゲリッチハウス」。
このサロンで、アルゲリッチの極上の室内楽を体験していただける特別なコンサート(5/23)や、音楽祭の大切なコンセプト「育む」に触れていただけるマスタークラス(5/15)をお届けします。
今年テーマ『平和と音楽～Peace and Music』のもと、メイン公演では、広島交響楽団を迎え、世界平和のためにアルゲリッチの思いを込めるオーケストラ・コンサート(5/7)、また、ベスト・オブ・ベストシリーズ(5/14)では、初参加のヴァイオリニストのレーピンとアルゲリッチの共演！芸術の神髄を披露します！
日本一のおんせん県おおいたで世界最高峰の音(おん)泉(せん)を心ゆくまでご堪能ください。



第15回記念別府アルゲリッチ音楽祭
「アルゲリッチ&マイルス キーデュオ」より

7日 (土)	<p>■アルゲリッチ ショスタコーヴィチを弾く ～オーケストラ・コンサート～ 16:00 開場 16:30 開演 18:30 終演予定 【会場】ビーコンプラザ・フィルハーモニアホール 【出演】マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、辻本憲一(トランペット)、高関健(指揮)、広島交響楽団(管弦楽)、清水高師(ゲストコンサートマスター)、川本嘉子(ゲスト首席ヴァイオリン奏者) 【プログラム】(予定)D.ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調、L.v.ベートーヴェン:交響曲 第7番 イ長調 op.92 他 【全席指定 GS:15,000 S:13,000 A:10,000 B:7,000 C:5,000 ユース:2,000(小学1年生～22才)】</p>
14日 (土)	<p>■ベスト・オブ・ベストシリーズ Vol.4 アルゲリッチ&レーピン室内楽コンサート 17:15 開場 18:00 開演 20:00 終演予定 【会場】iichiko 総合文化センター・iichiko グランシアタ 【出演】マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、ワディム・レーピン(ヴァイオリン)、川本嘉子(ヴァイオリン)、辻本玲(チェロ) 【プログラム】(予定)L.v.ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調「クロイツェル」他 【全席指定 GS:15,000 S:13,000 A:10,000 B:7,000 C:5,000 ユース:2,000(小学1年生～22才)】</p>
15日 (日)	<p>■公開ヴァイオリン・マスタークラス ～レーピンが伝えるロシアの魂～ 13:30 開場 14:00 開演 16:00 終演予定 【会場】しいきアルゲリッチハウス・サロン 【聴講料:1,500 全席自由】 【講師】ワディム・レーピン</p>
17日 (火)	<p>■日本生命 presents アルゲリッチ ベートーヴェンを弾く 18:30 開場 19:00 開演 21:00 終演予定 【会場】東京オペラシティ コンサートホール 【出演】マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、高関健(指揮)、紀尾井シンフォニエッタ東京(室内オーケストラ) 【プログラム】(予定)L.v.ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19、交響曲 他 【全席指定 GS:15,000 S:13,000 A:10,000 B:7,000 ユース:3,500(小学1年生～22才)】</p>
23日 (月)	<p>■しいきアルゲリッチハウス 未来へつなぐために ピアノと朗読で贈るスペシャルコンサート アニー・デュトワ プロジェクト Vol.2 音と言葉で紡ぐ「夜のガスパール」 18:30 開場 19:00 開演 21:00 終演予定 【会場】しいきアルゲリッチハウス・サロン 【全席自由 50,000】 【出演】マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、アニー・デュトワ(朗読)、平野啓一郎(朗読) 【プログラム】(予定) ラヴェル:夜のガスパール、ピアノトリオを予定</p>

150 席限定

このコンサートの収益金はすべて、しいきアルゲリッチハウスの運営に役立てます。

お問合せ

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団
大分県別府市野口原3030-1

TEL. +81-977-27-2299 /0977-27-2299 FAX.+81-977-27-2301/0977-27-2301

『アルゲリッチ音楽祭』で検索を → <http://www.argerich-mf.jp>